

将来都市像である「花かおり 緑あふれ 人輝くまち こうのす」の実現に向けて、合併15周年の節目に「花と緑の都市宣言」を制定しました。新型コロナウイルス感染症の拡大により、生活様式の大きな変革期を迎えたこの時期を、市民のシビックプライドを醸成する絶好のチャンスと捉え、本市の強みである「花」と「緑」を生かした取組を相乗的かつ継続的に実施し、市民と一体となって潤いと彩りあふれる魅力あるまちづくりを推進する。

① フラワーロードの創出(7,908千円)



鴻巣駅から免許センターまでの通りを  
鴻巣産の花で装飾する  
期間: 4~5月、2~3月の年2回  
(合計4か月間程度)  
鴻巣駅~免許センター 約1.7km区間

- ・歩道へのプランター(200個程度)
- ・陸上競技場や小学校のフェンスへのハンギングバスケット等(100個程度)



国道17号(鴻巣警察署)から免許センター前の市道を中心に

3月には、パンジーマラソンの会場に  
フォトスポットを制作(16万円)



SNSで拡散

今回のパッケージ化の効果として、1年を通じた取組により、新たな市民参画を促し、SNSでの拡散を通して、関係人口の拡大をめざす。

花のある暮らしの創出事業(5,242千円)

- ② 転入者向け(2,000世帯)
- ③ 新婚カップル向け(450組)  
転入世帯、新婚カップルに新たな生活を彩る「花」の引換券を配布



市内花屋にて「花」と引換えが可能

④ 新築家庭の緑化推進(850千円)

- ・新築世帯向け(700世帯)



新築住宅を建てた方に、シンボルツリーとなる「苗木」の引換券を配布

市内花屋にて「苗木」と引換えが可能

⑤ 市民協働による花と緑あふれるまちづくり(1,500千円)

⑤-1 花の種の配布(400千円)

花の種は、自治会等の行事におけるノベルティとして配布



⑤-2 花のボランティアの一体感を形成(600千円)



作業用ベストの作成

⑤-3 コミュニティ協議会「花のまちづくり」活動への新たな取組促進と面的展開の支援(500千円)



⑥ 未就学児を対象にした花育活動(1,170千円)

公立・私立保育所、幼稚園、地域型保育の施設に花苗を配布し、園児や子どもたちと一緒に花壇づくりや寄せ植えを行う。

保育所・幼稚園・地域型保育等  
39施設×3万円



⑧ 駅自由通路へのフラワーデザインアート(1,000千円)



横断幕型

高校生や大学生に協力いただき  
窓、壁、天井等へのデザインアートを展示

その他 1,532千円



令和3年4月1日施行 新たな「鴻巣市章」

鴻巣の頭文字「K」をメインモチーフとし、左側が自然と緑、伸びやかに育つけやき、右側が飛躍、はばたくコウノトリ、中央にパンジーをイメージした円を配置することにより、全体で優美なひな人形を表しています。